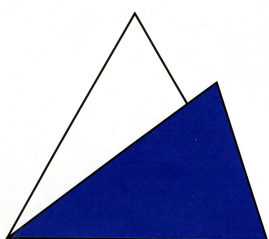


会員と千葉県連盟をつなぐ

ちばニュース

2020年 8月号



千葉県勤労者山岳連盟

Chiba Workers Alpine Federation

2020年 8月1日発行 通巻328

コロナウイルスに

感染しない・させない

8月号目次

・ 目 次	2
・ 7月県連理事会報告	3
・ 全国遭難対策担当者会議報告	5
・ 第1回ハイキング委員会報告	8
・ コロナ関連記事	
・ コロナで中止になった鹿沼岩山を歩く	9
・ ネパールからの報告	10
・ 全国連盟60周年レセプション案内	11
・ 8・9月予定表	12

表 紙 説 明

20数年前、3回目のネパールはアンナプルナ周遊トレッキングで、2回目のコースだったので天気と体調次第の気楽な旅でした。

写真は、その時にコースの何処かで撮ったアンナプルナI峰です。
ほったらかしで山積みのフィルムを整理していたら出てきた一枚です

アンナプルナ山群トレッキングは、エベレスト街道と並ぶ人気コースです。
コースはネパール第2の町ポカラが起点で、明るい農村風景と白い山々を眺めながらのコースは、エベレスト街道とは対照的で人気コースです。
宿泊施設、食堂等も充実していて村人も好意的です。何より食事が美味しく、タカリ族は料理上手で有名です、ダルバートやモモが懐かしいです。

——編集者——

2020 年 7 月 千葉県連理事会報告

日時：2020 年 7 月 16 日（木） 19 時～

場所：船橋市西部公民館 第 4 集会室

（3 月以降新型コロナウイルス感染防止のため中止していた。5 か月ぶりの開催である）

- ・ 公民館より、参加人数は定員の半数とするよう指示があった。
- ・ 開始前に机・椅子を準備し、全てアルコール消毒しふき取りを実施した。

【欠席】古瀬顧問、君津ケルン永田理事、民医連山を歩こう会戸石理事

【理事交替等による新参加者】・船橋勤労者山の会/畑澤 理事、

- ・ 松戸山の会/渡辺 誠理事
- ・ ちばこまくさハイキングクラブ/海瀬 理事

【その他】・クロバー山の会/新井 理事初参加

- ・ らんたん山の会/佐藤 代表参加

【桑原ハイキング委員長勇退】

新：田中康男委員長/ふわくハイキングサークル

旧：桑原年一委員長/松戸山の会

桑原様 長い間ありがとうございました 田中様 よろしく申し上げます

【議事】

1. 自粛期間中の県連活動状況と今後の予定

資料に基づき司会（鶴田副理事長）より報告、全国連盟行事についても一部報告
特段の質問意見はなかった。

2. 自粛期間中の各会の活動状況報告を依頼

先に広木会長より各会にアンケート形式で依頼した。

コロナウイルスへの対応として、定時総会を中止し特別処置により新年度活動を開始しました。今後同様の緊急事態等の参考にするために各会に協力をお願いした。

現在 6 会より回答あり、未回答の会は 9 月理事会までに回答を依頼した。

- ・ 自会の活動状況についての報告はなかった。

3. ふれあいハイクの今後について

①岡田実行委員長（こまくさ H C）より下記報告があった

2020 年 10 月開催予定の、第 18 回ふれあいハイクはコロナウイルスの状況を考慮して、2021 年 5 月以降に延期することが決定された。

②ふれあいハイクの今後について、県連盟の考えを障害者団体代表者宛に伝えた。

- ・ 高齢化が進む中ではあるがふれあいハイクの意義、参加者の充足感を考えると今後も継続したい
- ・ ふれあいハイクの参加者（障害者側、支援者側とも）の拡大について提案をした。
- ・ 特段の意見質問はなかった。

4. 県連加盟会の交流山行についての意見交換

①交流山行全般に関する意見

- ・ 意義、目的を共有するためのアナウンスが必要
- ・ 全国行事に積極的に参加して交流を図るなど今あるものを活用することが肝要
- ・ 東葛山の会羽鳥理事から、県北部4会で行われている交流会に東葛山の会も参加することになったと報告があった。
- ・ ちば山山内理事より「添付の資料ではちば山は交流山行に協力しないように受け取られるが、協力する」とコメントがあった。

②鶴田が提案する交流山行に対する意見

- ・ 他の会からの参加者のレベルを見極めるのが難しい（安全確保の難しさ）
- ・ 個人情報を広く流すことへの躊躇等否定的な意見が多く出た。

今後も継続して意見交換を行う。

* 8月役員会・理事会について

特に緊急を要する事態が起きない限り例年通りお休みとする。

（以上 文責 鶴田）

千葉県連盟の現状について

千葉県連会長 広木 国昭

◆ 千葉県連は総会を隔年で実施しています。今年はその年でした。

しかし、新型コロナウイルス感染対策で中止になり、特別処置より新年度活動をスタートしました。しかし、2年に1回の総会と理事会も実施出来なかった5か月間の空白は県連活動には大きなマイナスとなっています。

コロナ感染対策のこの期間を有効に活用して、今年度の重点項目や長年解決できない問題点を各会の例会等で話し合ってください。

1、2020年度の重点項目。

- ・ 交流山行の実施：実施する意義実施方法について議論を行う。目的を共有して無理のない形で実施したい。
- ・ 会員拡大の取り組み：クリーンハイク、ふれあいハイク参加者を一般公募して参加者に入会を呼びかける。一般の人が参加しやすい内容・実施地域の検討。

7月理事会の議題としたが、十分な討議は出来なかった。（理事報告参照）

2、県連盟が抱える課題について

- ・ 長期間、理事長・事務局長の不在が県連活動に大きなマイナスと会員サービスに大きな支障が出ている。今まで解決に向けての取り組みを行って来たが成果はありません。県連盟の現状を理解して率直な意見をお願いしています。

◆ 現在、新型コロナウイルス感染が勢いを増しています。飲み会や宴会同様に山行中の感染も要注意です。感染源が多岐になり宴会や飲み会だけではなくありません。電車利用の場合はほとんどが都内経由です、山小屋、テント泊も徹底した過密対策が必要です。自分の体は自分で守る、感染しない・させない 全員で徹底しましょう。

全国遭難対策担当者 Web 会議 参加報告

千葉県連教育遭難対策委員 伊東春正（かがりび山の会）

全国連盟 遭難対策部主催による全国遭難対策担当者 Web 会議に参加しましたので報告します。

この会議は Zoom によるビデオ会議で行われ、スタッフが全国連盟事務所に詰め、各県連委員はインターネットにより参加しました。

日程：2020 年 7 月 4 日(土)～5 日（日）

場所：全国連盟 1 階会議室（全国連盟役員 10 名ほど）+各県連委員はインターネットで参加

目的：コロナ時代の登山と安全対策について

参加者：スタッフ、各県連あわせて 30 名

日程：1 日目 12:30 受付

13:00～14:00 基調報告 全国連盟遭対部

14:00～15:30 講義「登山団体活動でのコロナ対策」

休憩 30 分

16:00～17:00 事故事例報告

17:00～18:00 質疑・応答・討論

2 日目 9:00～11:30 討論（欠席）

全国遭対部まとめの報告の後、12:00 解散）

会議内容：

1. 基調報告（10 年間の事故報告から見えてくるもの）

石川遭難対策部長（船橋勤労者山の会）より警察庁発表の事故発生状況と、労山で発生した事故の事故分析の報告があった。

事故分析では、道迷い、転倒などの事故分類を、より状況や状態を把握するために様態 1 と様態 2 に掘り下げた分析が目をつけた。

2. 講義「登山団体活動でのコロナ対策」

医療従事者から 3 つのテーマの講演があった。

①「心身ともに健康を維持する」

②「いま私たちが考えること、できること」

感染予防の三原則 を強調していた。

- ・感染源の排除：消毒、感染者の隔離
- ・感染経路の遮断：手洗い、マスク使用、三密回避
- ・抵抗力の UP：予防接種、生活習慣改善など体調管理

③「感染予防と熱中症予防」

熱中症予防としてマスクをはずす工夫が大事との話であった。

- ・他の人と 2m 以上の距離が確保できれば、休憩中もマスクを外しましょう。

熱中症になる影響度を気温（影響度 1）、湿度（同 7）、輻射熱（同 2）でとらえた総合指数（暑さ指数）が地域ごとに公開されているので、参考となる。（<https://www.wbgt.env.go.jp/>）

*登山に関するコロナ対策として、千葉県連 HP に山岳医療救助機構の資料を掲載していますので参照してください。

3. 事件事例報告

①「100 分にわたる CPR」栃木県連からの報告。

登山中に心筋梗塞で死亡した事例報告であり、計画書にコースタイムと所要時間を記載し、参加者に自分の体力で歩けるか判断させる というのが参考となった。

②「ココヘリ不携帯」埼玉県連からの報告。

CL が滑落して死亡しており、ココヘリに加入していたにもかかわらず、不携帯のため捜索に時間を要している。

民間の山岳遭難捜索チーム（LISS）による捜索で発見されている。

LISS は 国内で一番活躍している組織であるとのこと。（<https://mountain-liss.org/>）

4. 質疑・応答・討論

私から 2 点質問した。

①5/25 付で山岳四団体から、登山・スポーツクライミング活動ガイドライが発表されているが、6/19 に政府より都道府県をまたぐ移動制限が全面的解除されており、これを反映してガイドラインは更新しないのか。

→各団体からすでに出されているが、四団体からのガイドは遅れている、改定するよう働きかける（川島事務局長）。

②千葉県連では昨年発生した 16 件の事故のうち、転倒事故が 9 件ある。

転倒防止策としてストックの有効性について、みなさんの意見をお聞きしたい。

→下記意見が出て、あまり推奨していないようである。（愛知、東京・・・）

- ・登山道が荒れる
- ・ストックの強度に問題がある（SG マーク付きはある程度の強度はあるが）
- ・ストック事故の報告もある
- ・グリップを手首に巻くと、危険である

上手なころび方を指導している（尻をついたころび方）との意見が参考となる。

5. 所感

私が所属する会では、スマホで LINE によるビデオ会議を実施しているが、今回はじめて Zoom のビデオ会議に参加したので感想を述べる。

- ・簡単に使用できる。

アプリをインストール後、主催者からメールで送られた URL もしくはミーティング ID を

入力するだけで参加できる。

設定やアカウント登録は不要である。

- ・パソコン画面は大きくて見やすい。

最新の LINE は、WindowsPC には新規導入ができなくなっている。

- ・ホスト側で会議進行をコントロールできる。

意見のある人は、手を挙げる機能をクリックして意思表示すると、ホスト側で参加者のマイクオンを許可できる。

また、この機能により多数決での人数も把握できる。

- ・発表者が画面を共有することにより、参加者は資料を見ながら説明を聴くことができる。
- ・無償版では連続使用時間が 40 分の制限があるが、再接続すれば長時間使えるとのこと。

ビデオ会議は、時間と経費が節約できコロナ後でも有用であるため、Zoom はお勧めしたいソフトである。

Zoom 画面



2020 年度 第 1 回ハイキング委員会 2020 年 7 月 28 日 (火)

出席者 桑原、金井、深草、羽鳥、根本、磯部、寺崎、田中、松宮、 9 名

議題

1) 第 36 回 房総ロングハイキング

2021 年 1 月 30 日 (土) 31 日 (日) 開催予定です。

問題点 1) コロナウイルスの状態で宿泊の問題。 桑原が確かめる

2) 東葛地区のバスの問題、大型で 20～25 名 定員 羽鳥が確かめる

※ 結果 募集はするが、11 月末で催行の有無を決定する。

2) ウィークデー山行

玉原 (たんばら) 高原 湿原散策～尼ヶ禿山 催行予定です。

日時 2021 年 6 月 10 日 (木) バス利用 2 台 千葉発・東葛発

コース センターハウス駐車場 10:40 出発—玉原湿原—朝日の森ロッジ登山口—鉄塔—尼ヶ禿
山山頂—鉄塔—トンネル手前登山口—ブナ平—駐車場 15:00 着予定

乗車＝「望郷の湯」16:20/17:20＝各地

※ 結果 募集はするが、4 月末に催行の有無を決定する。

3) 時期役員の選出の件 決定しました。

委員長、田中康男 副委員長 (補佐)、羽鳥健一郎 会計、桑原取敢えず。

次回からよろしくお願いします。新しい風を吹き込んで下さい。

※無事に受け渡し (事務所の鍵、桑原の使用していた資料) 引き継ぎました。

ちばニュース掲載引き続き行いう事にする。 タイトル (山への想い) 雑感

8 月金井、9 月根本、10 月田中、11 月松宮、12 月寺崎、1 月磯部、2 月八巻、3 月桑原、4 月
羽鳥、5 月深草、6 月金井、7 月根本、8 月田中、9 月松宮、10 月寺崎、

※ 前月の 20 日までに「ちばニュース」広木様、石戸様、種蔵様、メールまでお願いします。

未掲載月がありますのでなんでも結構です、原稿送りましょう。

今回はウイルス其の他で掲載できませんでした。次回は掲載します。

その他

※ 2020 全国ハイキング交流集会 9 月 13～14 日 (場所未定) 田中出席予定。

※ ふれあいハイキング 本年度は中止、2021 年 5 月予定 行き先未定

何処か良いところあったらお知らせください。

尚、8 月 2 日 (日) 午後 1 時 30 分より委員会開催します。

場所 千葉市中央コミュニティーセンター 5 階サークル室 2 (千葉市役所前)

田中委員長が出席予定です。

※ 九州地方災害義援金などについて応援します。

キャンセル規定 1 週間以前迄 0 円・2 日前迄半額・1 日前と当日全額です。

次回委員会 2020 年 10 月 13 日 (火) 18:00～ 県連事務所

コロナで中止になった『鹿沼岩山』を歩く

安彦秀夫（東葛山の会）

日時：2020年7月12日（日）日帰り 参加者：5名

4月会山行として計画していた『鹿沼岩山』は、新型コロナウイルス感染拡大防止で中止になり、それでは、個人山行で車を利用して少人数で…と変更しましたが、『緊急事態宣言』の発出で再度中止になり、自粛ムードに突入しました。

やっと県を越えての移動制限も解除になり、『中止になっていた山を是非とも歩きたい…』という会員と一緒に、梅雨の晴れ間に歩いてきました。

東武野田線『川間駅』で電車で来た4名と合流し、4号バイパスを高速道路を思わせるように快調に走り、まちの駅『新鹿沼宿』でトイレ休憩後、登山口となる『日吉神社』へ。しかし、『一般車両駐車禁止となりました』と告げられ、教えてもらった無料駐車場（看板はありませんが、舗装してあり20台は可能）へ。

登山の準備をし、歩き始めて15分ほどで日吉神社に着き、『岩稜ミニ縦走無事祈願』をして登山道へ。岩登りゲレンデの『A峰』の下で、ヘルメットを着け、いよいよスタート。岩場にはステップが切っており『C峰』に無事到達。振り返って『A峰』、『B峰』そして街並みを望み、一息ついた後、大きな岩の間に縫うように進みました。風がなく汗を拭きながら先行の4人を追いました。

『三番岩』に登り、さらに進み『二番岩』へ。下山取り付きの『一のタルミ』を確認し、『一番岩 328.2m』の山頂へ。記念写真を撮り、周りの山々を見ながら昼食を摂ろうとしたら、急に雨が降り出し、慌てて山頂直下の岩陰に入り、何とか雨を避けて昼食を摂ることができました。空を見上げたら、真上だけが黒い雲に覆われていました。



間もなく雨も止み、『猿岩』へ。垂直に近い岩場の鎖を見下ろし、『一のタルミ』に戻り、ゴルフ場側へ下山。雨上がりの急坂ということもあり、非常に滑り難渋しましたが、要所要所にはステップが切っており、何とか転ばずにゴルフ場間近まで下り、『あとは舗装道路を歩くだけ…』と思っていたら、ゴルフ場側には出られず、更に山道を歩いて『貯水タンク』へ。岩稜ミニ縦走を無事歩き終え、ホッとした気持ちで駐車場へ向かいました。しかし、最後の舗装道路では、陽射しが強く足取りは鈍かったです。でも、満足感一杯でした。

まちの駅『新鹿沼宿』で一息ついて帰途に就きました。（2020/7/20/Mon.）

ネパールからの報告（新型コロナウイルス）

千葉県連 会長 広木 国昭

ネパールの友人より、ネパール国内の新型コロナウイルス情報が送られてきましたので紹介します。

ネパール国内においても、新型コロナウイルスの感染拡大が進み深刻な状況です。コロナウイルスの感染が広がり始めた当初は、ネパールでの感染者は確認されていなかったが、3月初旬にカトマンズ空港で日本、中国、韓国、ヨーロッパからの入国を停止する措置がとられました。ネパールでの観光、トレッキング、登山を予定していた多くの人が断念しました。同時にネパールからの出国が出来ず国内にとどめ置かれました。3月23日には外出自粛のロックダウンが始まり、カトマンズ市内では交通の運行を停止しました。これにより経済活動が休止状態となり、地方へ帰る人も多く見られました。その結果、市内は車の排気ガスや砂埃が少なくなり、ここ何年か望む事が出来なかったヒマラヤの山々がきれいに見えるようになった。

5月末は千人程の感染者でしたが、経済活動の停滞を長引かせないように自粛を緩和した6月には感染者が急増し、6月30日には1万3千人を超えて予断を許さない状況になっています。

ネパール国内での感染による死者は29人（6月30日）と比較的少数ですが、深刻なのは出稼ぎなどで外国に滞在しているネパール人の感染者は2万6千人、死者160人程度になっていると言われています。

同時に、隣接するインドやパキスタンでも感染が急増しており、特に生活物資を依存しているインドからの流入は避けることが出来ず、感染源となる危険性は大きく最大限の防止措置が重要となっているそうです。（以上がネパールよりの報告です）

ネパールは観光収入に頼り、外国からの観光客の受け入れが出来ないと国民の生活は大変厳しくなります。そして、首都カトマンズに人口が集中し住宅は過密状態でコロナ感染対策より生活優先で十分な感染対策は取られないと思います。

日本では、緊急事態宣言と自粛要請にこたえた国民の努力で、行動自粛が解除されましたが、その後都市部を中心にコロナ感染者が急増しています。

これ収束から行動再開の時期に感染実態を把握し拡大を抑える基本的な方針を確立が出来ないままに経済活動を優先した結果でしょう。延期・見直しを求める国民の声を無視し、東京都を除外してまでスタートした「GO TO トラベル」は感染の拡大を危惧されています。

私たちも自粛期間のうっぷんを晴らすかのように登山を再開しました。しかし、リスクの多い登山であることを認識する必要があります。登山中や行き帰りのコロナ感染対策の徹底に加えて、・登山道の閉鎖 ・山小屋の営業停止、小屋泊、テント場の予約制等について事前に情報を入手して十分な対応が必要です。何より事故を起こさない、救助を必要としない責任ある登山をお願いします

日本勤労者山岳連盟 創立60周年記念講演会・レセプションのご案内

夏山シーズンを迎えましたが、今年は4月に緊急事態宣言が全国に発令され、いつもと違う日常となっております。皆さま、お変わりなくお過ごしでしょうか？

さて、私たち日本勤労者山岳連盟は、1960年5月12日に創立され、本年60周年を迎えました。この間、登山・ハイキングが健康で文化的な生活のひとつであり、平和で民主的な国民生活に根ざしたスポーツ・レクリエーションとして、普及し発展させることを目的として活動してきました。これは、多くの方々にご支援とご協力をいただいたおかげと、深く感謝申し上げます。

今後の活動の飛躍と登山文化発展のために、節目の年をご一緒に祝いたいと思います。ぜひ、ご出席くださいますようご案内申し上げます。

2020年5月30日

日本勤労者山岳連盟 会長 佐々木功

記念講演会

日 時 2020年11月14日（土） 受付開始 12時半 開会 13時 終了 17時

会 場 神田明神ホール

〒101-0021 東京都千代田区外神田 1-104-19 電話
03-5285-1121

会 費 1,000円（記念レセプション参加者は無料）

記念レセプション

日 時 2020年11月14日（土） 受付開始 17時半 開会 18時 終了 20時

会 場 ホテル東京ガーデンパレス

〒113-0034 東京都文京区湯島 1-7-5 電話 03-3813-6211

会 費 10,000円（記念品代を含む）

振込先： 郵便振替口座 口座番号 00140-5-563328

加入者名 労山行会計係

郵便局（ゆうちょ銀行）以外からの振込は 金融機関名 ゆうちょ銀行

店名 〇一九 預金種目 当座 店番 019 口座番号 0563328

詳細・問い合わせ：

全国連盟事務局 jwaf@jwaf.jp：03-3260-6331

千葉県連会長 広木 国昭：danphiro@zpost.plala.or.jp

県連予定表

8月		
日付	曜日	会議・イベント
1	土	
2	日	
3	月	
4	火	
5	水	
6	木	
7	金	
8	土	
9	日	
10	月	山の日
11	火	
12	水	
13	木	
14	金	
15	土	
16	日	
17	月	
18	火	
19	水	
20	木	
21	金	
22	土	
23	日	
24	月	教遭委員会 19:00~@県連事務所
25	火	
26	水	
27	木	
28	金	
29	土	
30	日	
31	月	

暑中
お見舞い
申し上げます



9月		
日付	曜日	会議・イベント
1	火	
2	水	
3	木	
4	金	
5	土	
6	日	
7	月	県連盟 役員会
8	火	
9	水	
10	木	
11	金	
12	土	
13	日	
14	月	
15	火	
16	水	県連盟 理事会
17	木	
18	金	
19	土	
20	日	
21	月	敬老の日
22	火	秋分の日
23	水	
24	木	
25	金	
26	土	
27	日	
28	月	教遭委員会 19:00~@県連事務所
29	火	
30	水	

事故発生時の連絡先

◎事故一報は事故発生後一か月以内に！

◎全国連盟と県連教育遭難対策委員会の両方にメールまたはファクスで！

全国連盟事務局

メール： jwaf@jwaf.jp

ファクス： 03-3235-4324

県連教育遭難対策委員会

メール： itou2385@yahoo.co.jp（伊東）

ファクス： 043-271-4704（岡田）

連盟費の振込先はこちら！

郵便振替口座 00160-3-481509

千葉県勤労者山岳連盟

（ゆうちょ銀行 〇一九店 口座番号0481509）

発行者： 千葉県勤労者山岳連盟

発行責任者： 広木国昭

住所： 〒261-0013 千葉市花見川区幕張本郷 1-29-18 レジデンス幕張台 101号室

電話： 043-306-1190

E-mail： rousanchiba@grape.plala.or.jp

HP： <https://www.cwaf.jp>